

施策評価管理シート

2014(平成26)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
都市整備部	松本 壽次	63-7749 (都市計画室)

施策体系	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	4	総合的な交通対策の推進
	施 策	1	交通対策

1. 施策の基本方針 Plan

- ・(仮称)「名張市総合交通マスタープラン」を策定します。
- ・人命尊重と市民生活における安全の確保を基本とした快適な交通環境を整備するとともに、市民の交通安全に対する意識の向上を図ります。
- ・道路交通施設の整備や歩道のバリアフリー化などを進めます。

2. 目標

○重点目標

Plan

- ・名張市総合交通マスタープランに基づくアクションプログラムとして、各種施策、事業における実施時期・効果などを整理した「(仮称)交通戦略」を策定します。
- ・交通不便地域の解消や、交通移動不便者(交通弱者)の移動手段を確保し、誰もが不自由なく移動できる持続可能な交通システムの構築を目指します。
- ・交通安全に係る啓発活動の継続的な実施により、市民の交通安全意識の定着や向上とともに、交通事故防止を図ります。

○目標達成に向けた課題

Plan

- ・市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」については、適切な受益者負担を考慮した運営について検討を進める必要があります。
- ・交通不便地域である赤目地域の一部については、地域住民のニーズに応じた適切なコミュニティバス等の運行手法等を検証し、実現に向けた調査検討を進める必要があります。

<行政評価委員会からの意見>
意見なし

○施策指標(目標)及び達成状況

Plan
Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2015 (H27)	進捗率
公共交通など市内の交通環境に満足している市民の割合 (%)	目標	-	-	-	41.0		43.0	
	成果	39.4	40.9	41.2	41.8	43.7		100%
交通人身事故の発生件数 (件)	目標	-	-	-	410		390	
	成果	432	417	459	343	338		100%
放置自転車等の台数(年間) (台)	目標	-	-	-	198		188	
	成果	209	71	48	80	65		100%
コミュニティバス「ナッキー号」の1日平均乗降客数(人)	目標	-	-	-	194		203	
	成果	185	184	180	186	193		44%

3. 取組内容

○課題解決への取組内容

Do

- ・市街地循環バス「ナッキー号」と国津「あららぎ号」の運行を継続するとともに、交通空白地・交通不便地の6地域の内、赤目地域を除く5地域でコミュニティバスの運行支援を行いました。
- ・赤目地域(交通不便地)におけるコミュニティバス等の運行を目指し、運行形態や今後の進め方について、赤目まちづくり委員会と視察や協議を重ねました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>
意見なし

○地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

・各地域コミュニティバス運行協議会が開催する会議に積極的に参加し、地域固有の課題解決や便数・時刻表の改正などの運行業務に関する支援を行いました。
 ・昨年に引き続き、赤目まちづくり委員会との協議を重ね、先進事例の視察など運行準備段階での支援を行いました。
 ・放置自転車の撤去や処分などの業務について、地域づくり組織への委託や指定管理者制度等の活用について検討を進めています。

4. 施策達成のための事務事業及び評価 (合計 6 事業) **Do** **Check**

事務事業シート番号	事業名・担当室名	事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価		
		2012 (H24)	2013 (H25)	事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度	
		1118	交通安全対策事業	都市計画室	322	362	B	実践している	継続(改善)
1119	公共交通対策事業 *	都市計画室	20,270	19,818	B	実践している	継続(改善)	B	B
1120	自転車等駐車対策事業	都市計画室	68	87	B	検討している、今後可能性がある	継続(改善)	B	B
3065	コミュニティバス運行補助金 *	都市計画室	12,479	12,000	B	実践している	継続(現行)	B	B
5023	駐車場管理費	維持管理室	8,325	8,519	B	該当しない	継続(改善)	B	C
5024	駐輪場管理費	維持管理室	1,318	1,349	B	該当しない	継続(縮小)	B	C
合計(単位：千円)			42,782	42,135					
小計(うち、一般会計分)			42,782	42,135					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価 **Check**

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」については、新たな財源確保や受益者負担の見直し等に向けての体制準備を進めましたが、度重なる国の制度改定に伴い、早期の検討・実施に向けた取組が遅れています。 ・交通不便地の赤目地域については、導入準備に係る最新の情報提供を行ってまいりましたが、実現に向けた検討が長期化していることから、再度アンケート等による住民意向の把握が必要であると考えています。 ・生活安全推進協議会交通安全部会による年間を通じた啓発(立哨)活動に加えて、市内小中学校への交通安全に係る講習会を実施するなど、より積極的な部会活動を推進することができました。 ・生活安全推進協議会交通安全部会では、より積極的な活動を推進する方針が確認されたことから、より具体的な事業・活動等について検討を進める必要があります。

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

・当市においては、今後急激に交通移動不便者が増加することが予想されることから、より効率的で利便性の高い地域交通システムの構築を推進する必要があります。
 ・市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」については、サービスの維持、向上や持続可能な運行に向け、利用者負担と税財源の投入のあり方について、広く市民や地域と議論を深め、料金体系も含めた検討を行います。
 ・現行コミュニティバスの適正な運行料金の検討とともに、協賛金等新たな財源確保と合わせて、改正された国の支援制度に基づく市場調査や検討が必要です。
 ・新たな法制度では、行政を中心とした地域全体の面的な公共交通ネットワークの再構築が望まれており、当市においても公共交通の課題整理を早期に行い、まちづくりと連携した計画策定が必要です。
 ・生活安全推進協議会交通安全部会委員の研修機会を増やすとともに、地域住民や他団体との連携を図りながら、独自企画による交通安全啓発活動を推進していく予定です。
 ・駐車場や駐輪場については、違法駐車防止など周辺の交通環境の保全・整備という目的を踏まえながら、利便性の向上と採算性のバランスを図り、運営時間や運営方法の見直しについて検討を進めます。

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他（意見）